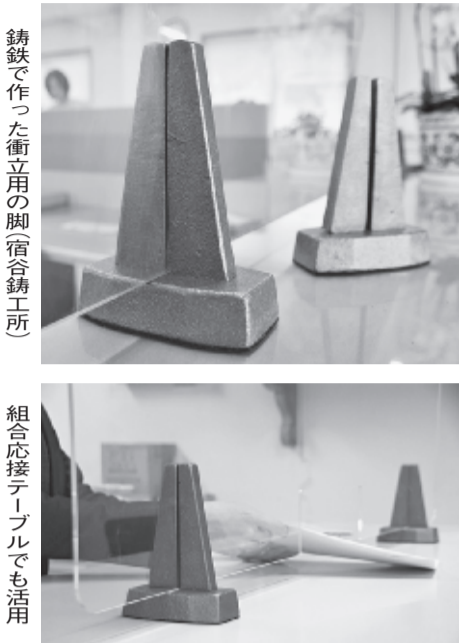


- ◎スクラップ急騰—組合アンケート 2面
- ◎鋳造入門講座のオンライン修了式 2面
- ◎東急ハンズ新宿でマンホールPR 3面
- ◎昨年の銑鉄鋳物生産300万トンの割れ 4面
- ◎銑鉄鋳物12月は前年同月比5%増 4面

KAWAGUCHI FOUNDRY NEWS

川口鋳物ニュース

編集兼発行人 総務委員会
 発行所
 川口市元郷2-1-3
 川口鋳物工業協同組合
 電話(川口) 048(224)6200番(代表)
 F A X 048-224-1536番
 ●ホームページ・メールアドレス
 http://www.kawaguchi-imonon.jp
 kumiai@kawaguchi-imonon.jp



鋳鉄で作った衝立用の脚(宿谷鋳工所)

組合応接テーブルでも活用

組合2階応接にも

飛沫防止パネルの脚
 宿谷鋳工所、鋳鉄で試作

（株）宿谷鋳工所（川口市青木）は、新型コロナウイルスの感染予防対策で使われる飛沫防止パネル用の脚を鋳鉄で試作した。ヨットのような形状で、中央の幅が約17センチ、通常の亚克力製の脚（組合で使用しているものと比較）の約1.5倍になるが、土台の面積はほぼ4分の1に縮小でき、重さは1個当たり約1.5キログラム。

企業のオフィスなどで飛沫防止パネルが導入されているのを見て、同社の宿谷岩男会長が鋳物での制作を思い立った。2020年11月に木型から砂型を作り、

1月生産「増加した」2割

組合 景況動向アンケート

1月の生産量(前年同月を100とした場合)		
生産量の水準	回答社数	回答社数に占める比率
110以上	4(0)	11.4%(0.0%)
100~110	3(3)	8.6%(7.9%)
90~99	3(8)	8.6%(21.1%)
80~89	7(12)	20.0%(31.6%)
70~79	11(7)	31.4%(18.4%)
60~69	5(3)	14.3%(7.9%)
50~59	0(2)	0.0%(5.3%)
50未満	2(2)	5.7%(5.3%)
未回答	0(1)	0.0%(2.6%)
合計	35(38)	100%(100%)

カッコ内は前回回答(10月の生産量)

コロナ禍影響、斑模様

アンケートは組合員のうち実働工場を対象。年3回、4回程度行っており、今回は2月12日、22日に実施した。35社から回答があった。回答率は51.5%。

「前年同月を100とした場合」の1月の生産量の水準を聞いたところ、前回のアンケート(10月の生産量)を調査でゼロだった「110以上」が11.4%(4社)にのぼった。「100~110」と答えた企業は8.6%(3社)を合わせると、100以上の企業は20.0%(7社)に上った。

需要分野	今後(半年後)の景気見通し				
	一般産業	機械	自動車	建設機械	景観・公共・共物
良くなる	0	1	3	1	2
やや良くなる	8	5	5	2	1
横ばい	14	2	3	3	7
悪くなる	2	4	4	1	3
悪くなる	1	0	0	3	1

数字は回答社数

初午太鼓保存会(石川義明会長)川口鋳物工業協同組合理事長は、3月14日にJR川口駅西口のリアで予定していた「第51回初午太鼓コンクール」の中止を決めた。新型コロナウイルスの感染予防のため、無観客で開催の演奏は動画投稿サイト「ユーチューブ」で配信する。出場者は演奏後すぐに会場を退出する。1日に、火伏せや商売繁盛を祈願して叩いたのが始まりとされる。郷土芸能の伝承と地域の人材育成に向けた活動として、市内各所で続けられ、毎年春の初午太鼓コンクールが稽古の成果を披露する場となっている。

悪くなる」と答えた。建機は3社、自動車は2社がそれぞれ「横ばい」だった。ともに中国のインフラ投資などを追い風に、持ち直しの傾向が強まっているが、バラつきも目立った。

また、一般産業機械では「良くなる」が前回に続きゼロで、「横ばい」が最多の14社。ただ、「やや良くなる」が8社と前回より2社増えた。「悪くなる」は1社、「やや悪くなる」は2社だった。

景観・公共鋳物では「悪くなる」と「横ばい」が各3社で、2社が「やや良くなる」と回答。このほか「良くなる」と「やや悪くなる」が各1社で、先行きへの見方が分かれた。

半年後「良くなる」「悪くなる」共に拡大

川口鋳物工業協同組合の「第39弾景況動向アンケート」によると、1月の生産量が前年同月比で増加した企業が回答企業のほぼ2割に拡大する一方、生産量が前年同月の80%に満たない企業が再び過半数に達した。全体に改善基調にあるものの、2020年11月以降の新型コロナウイルスの感染再拡大や、半導体不足による自動車などの減産で、ブレーキがかかっている格好だ。半年後の景況見通しでも「良くなる」「悪くなる」との回答が共に増えるなど斑模様で、先行き不透明感が依然として強い。(2面に関連記事)

すると、100以上の企業の比率が20.0%(7社)と、前回調査の7.9%(3社)から大幅に拡大した。これに対し、生産量が減少した企業を見ると、最も多かったのは「70~79」の31.4%(11社)で、前回調査の18.4%(7社)から

大幅に上昇した。また、「60~69」と答えた企業が14.3%(5社)と、前回の7.9%(2社)から増えた。前回調査で31.6%(12社)と最多だった「80~89」は、今回20.0%(7社)に縮小。「90~99」は前回の21.1%(8社)から8.6%(3社)へ大幅に縮小した。このほか、「50~59」はゼロで、「50未満」は5.7%(2社)だった。

生産量が増加に転じたり上げ幅が拡大したりする企業が出る同時に、下げ幅が広がる企業も増えていることが分かる。特に、生産

初午太鼓コンクール

コロナ禍で再び中止



2年連続で中止に。写真は2019年のコンクール

■工数削減と人財確保に……即、偉力を発揮します。

高速
グラインダー

自硬性中子砂
MIXER

MIXER

新設・メンテナンスのご用命は

鋳機、鋳材店へ

オガワのサンドミキサー製造元

小川金属株式会社

本社/埼玉県川口市本町4-9-15
TEL 048-222-2903(代)
FAX 048-223-2117